

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
感染症対策の実際 (人間コミュニケーション学科)		選択必修	1	1.2	前期 (隔週)	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
田中 将志	D301	m-tanaka	火・水・木 12:20~12:50			
授業の目的・概要	新型コロナウイルス感染症に見られる、世界に急拡大する感染症は、日常生活に大きな影響を及ぼす。よって、感染症予防を図りながらコミュニケーションを取るためには、人と接する際には何に留意すべきかを理解し実践することが重要である。本科目では、微生物と生体防御機構の特徴について学習し、感染症に対する医療や予防策についての基礎的理解を深めることで、コミュニケーションを取る際の感染症対策として必要な知識を習得することを目的とする。これらの内容について、課題学習等を通して理解するとともに、Teams による授業時の意見交換や、提出課題に対するフィードバックを活用して包括的な理解につなげる。					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク					
学習上の助言	本科目では特に復習が効果的である。疑問が生じた場合は、授業中やメール等で随時質問して早めに解決すること。					
教科書	教科書は指定しない。学習用資料を配布する。					
参考書	指定参考書なし。					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	微生物の特徴を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
②	生体防御機構を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
③	感染症発症の仕組みを理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
④	感染症に対する医療 (ワクチン等) の概略を説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
⑤	感染症に対する予防策の概略を説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
⑥	感染症が日常生活に及ぼす影響を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)、HC(2)、(6)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	「生体防御と微生物(1)」: 免疫系や微生物の発見の歴史、生体防御機構の概念について学ぶ。	同時双方向型授業	次回の学習内容等に関し、身の回りにはどのような情報があるか、厚生労働省や関連する学会等の医療関連情報を確認する。課題 (小テスト形式) で復習する。			
2	「生体防御と微生物(2)」: 微生物の基本構造や自然免疫について学ぶ。	同時双方向型授業				3
3	「生体防御と微生物(3)」: 獲得免疫やウイルスの一般的性状等について学ぶ。	同時双方向型授業				3
4	「医療と生体防御」: ワクチンによる生体防御効果向上の機序について学ぶ。	同時双方向型授業				3
5	「感染と発症」: 感染症発症の要因や推移等について学ぶ。	同時双方向型授業				4
6	「感染症の治療」: 抗菌薬や抗ウイルス薬の作用機序等について学ぶ。	同時双方向型授業				4
7	「新興感染症」: 新型コロナウイルス感染症の特徴や検査について学ぶ。	同時双方向型授業				4
8	「感染症と生活」: 感染症の予防、感染症流行時におけるメンタルヘルス等について学ぶ。	同時双方向型授業				5
試	定期試験: 達成度評価・評価のポイント参照					

【2023 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	40	0	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。評価割合は 100%とする。試験では、授業内容に関連した課題等に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果の返却とともに、正解を提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	博士（理学）を有し、アメリカの大学や国内の研究所にて研究員としての研究経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員は、博士（理学）を有し、国際誌へ研究成果を論文として発表する、基礎医学の専門家である。世界最新の知見に基づいた講義を実施することが可能である。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Teams を使って遠隔授業を行う。課題ダウンロード等があるため、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</li> <li>● 今後の社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。</li> </ul>						